

令和7年度 第2回 学校関係者評価委員会資料

学生による学校評価について 自由記述概要

- 教室のエアコンが事務室でしか温度設定ができない。暑さ寒さが極端すぎる。室温設定の微調整ができるようにしてほしい。（同意見、多数あり。）
- 自動販売機の内容が微妙。もう少し内容を考えてほしい。カップ麺を入れてほしい。お菓子の品目を増やしてほしい。など多数意見あり。
- e-paの連絡が遅い。e-paが活用されていない教科がある。
- 保育現場で活用できる、絵本の読み聞かせ・ペープサート・パネルシアターなどの授業がとても良かった。
- 先生方が学生をきちんと保育者に育てようとする熱意を感じる。
- 一般学生が、教室の清掃をやらず、いつも訓練生がやっている。
- 授業中に居眠りをする学生がいる。それを注意しない先生もいる。
- 不真面目な学生のグループが、活動に参加しない。

教員による自己評価の検証

■前年度に比べ、50の評価項目中43項目がマイナスポイントになった。その主な項目について検証すると

- ①専任教員が定数ぎりぎりの人数であり、一人当たりの業務量が多くなっていることから日々多忙を極めており、各評価項目についてPDCAサイクルを回すことができていないこと。
- ②大項目の基準Ⅱ「学校運営」の7については、運営組織や意思決定機能などが教職員に適切に認知されていないこと。
- ③大項目の基準Ⅲ「教育活動」と、基準Ⅴ「学生支援」については、先生方にとって極めて重要な評価項目であるが、情報共有や改善に向けた話し合いができない現状にあること。
- ④大項目の基準Ⅵについては、施設の老朽化に伴い都度補修を実施しているが、まだ十分とはいえない現状にあること。
- ⑤大項目の基準Ⅹ社会貢献・地域貢献では、福祉保育推進室の取り組み計画を職員会議で事前に提示しているが、教員の参加がほとんどないことから、実態を把握していないこと。などが考えられる。

今後の対応について

【学生】

- ①次年度に向けて対応が可能な案件については、速やかに解決に向けて取り組む。（教室のエアコンの個別設定）
- ②自動販売機の内容については、これまでも業者と協議して決定している。今後も学生のニーズを踏まえながら、引き続き良い商品を納入したい。
- ③授業規律については、これまでも校長から各先生方にご理解とご協力をいただいている。来年度当初も引き続きお願いをする。

【教職員】

- ①学生募集が多くなれば、専任教員の採用増につながる可能性が生じ、結果として教職員の業務量及び負担感が減少すると考える。
- ②教職員の自己評価を踏まえた、改善方策に向けて協議する機会を設ける。
- ③内容が周知・共有されていない項目については、確実な周知を図る。